

# 要 望 書

平成30年5月

福井県あわら市議会・石川県加賀市議会

福井県あわら市議会及び石川県加賀市議会より提出いたしました別記要望事項の実現につきまして、特段のご配慮を賜りたく、ここに強く要望いたします。

平成30年 5月 日

あわら市議会議長 森 之 嗣

加賀市議会議長 林 直 史

## 北陸新幹線の早期完成について

北陸新幹線金沢・敦賀間については、3年前倒しによる、2022年度末の開業を決定していただきましたことは、政府・与党のご理解とご尽力の賜物と深く感謝を申し上げます。

長野・金沢間開業以降、全国から北陸に注目が集まり、多くの観光客が訪れています。特に金沢においては新幹線効果により大変な賑わいを見せ、地域経済にも大きな効果をもたらしています。

現在、加賀・あわら温泉郷を抱える石川県加賀市や福井県あわら市は、金沢からの2次交通の充実やPR活動など誘客に努めているところであり、新幹線延伸により、「ひと・もの」の流れが円滑になり、地域活性化に大きく寄与するものと期待しております。

北陸新幹線は、高速交通体系の柱として日本海側都市の均衡ある発展に必要不可欠なものであり、地方創生やインバウンド推進など沿線地域の発展を図る上で、極めて大きな効果をもたらすものであります。加えて、大阪まで延伸することにより、関西圏をはじめ、あらゆる方面から人の流れが創設されるとともに、フル規格で整備することにより、多くの需要が見込まれ、経済波及効果や収支改善効果は極めて大きいものと予想されます。

また、災害に強い強靱な国土づくりがこれまで以上に求められており、北陸新幹線開業により、今後は、太平洋側と日本海側が相互に支え合う仕組みができあがります。

つきましては、長年にわたる沿線住民の悲願である北陸新幹線の一日も早い全線開通が実現されるよう、下記の事項を強く要望します。

### 記

- 1 金沢 - 敦賀間について、2022年度末までの確実な開業の実現及び敦賀までの更なる前倒し開業の促進を図ること。
- 2 大阪までのフル規格による早期全線整備の促進を図ること。
- 3 新幹線開業に向けた新駅周辺での駅前広場や道路等の都市施設の整備に関し、特段の支援・配慮をすること。

## 国道 8 号の整備促進について

道路は、経済や社会活動を支え、沿線住民にとって『豊かさゆとり』を実感し、安全で安心な生活をおくるための基本的な社会基盤であります。

現在、国道 8 号については、石川県加賀市箱宮町から熊坂町までの 11.1km で、4 車線化の事業化がされ、既に 8.9km が供用開始されるとともに、残りの 2.2km も鋭意、工事の進捗が図られております。

また、福井県においては、福井バイパスの最後の区間である、あわら市笹岡から坂井市丸岡町玄女までの 5.4km の区間において、急ピッチで工事が進められており、本年開催の「福井国体・障害者スポーツ大会」までに暫定 2 車線で供用開始される予定です。

しかしながら、県境を挟み、石川県側の 3.2km 及び福井県側の 5.5km については、4 車線化の事業着手が未だなされていない状況であります。

こうした中、本年 2 月の記録的な大雪では、石川県と福井県の県境の国道 8 号において、1,500 台を超える車両の立往生が発生し、60 時間以上もの間、交通が遮断され、食料品や灯油、ガソリン等の生活物資が不足するなど、市民生活に大きな影響を与える事態となりました。

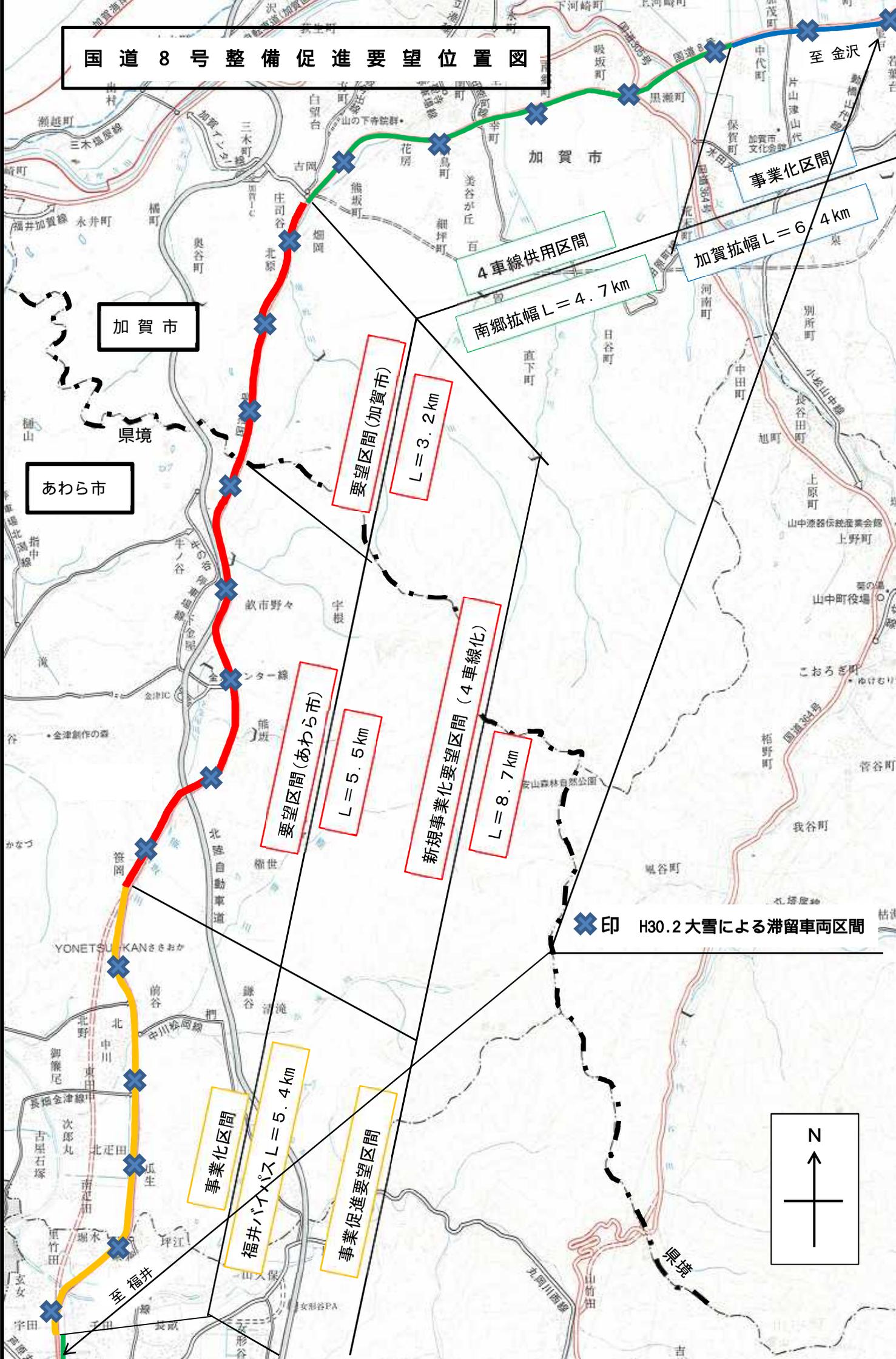
広域的交流の促進や物流の円滑化のほか、豪雪や豪雨などの災害に強い交通を確保する上でも、早期の 4 車線化は必要不可欠なものであります。

つきましては、この道路の重要性・緊急性を認識するとともに、地域の実情を踏まえ、次の事項につきまして、特段の配慮がなされるよう強く要望します。

## 記

- 1 真に必要な地方の道路整備を推進するため、長期的・安定的に予算の総額を確保すること
- 2 地域の経済成長を実現するため、人口減少時代下での生産性を向上させ、企業誘致や雇用創出などのストック効果を高める道路整備を加速させること。
- 3 現在事業中の加賀拡幅及び福井バイパス事業について、早期の完成を目指すとともに、福井バイパスについては、一日も早い4車線化での供用を図ること。
- 4 県境を跨ぐ 8.7 km区間の4車線化の新規事業着手を速やかに図ること。

# 国道8号整備促進要望位置図



加賀市

あわら市

事業化区間

4車線供用区間  
南郷幅 L = 4.7 km

加賀幅 L = 6.4 km

要望区間(加賀市)  
L = 3.2 km

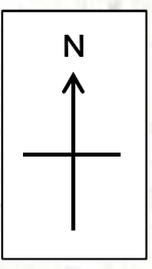
要望区間(あわら市)  
L = 5.5 km

新規事業化要望区間(4車線化)  
L = 8.7 km

事業化区間  
福井バイパス L = 5.4 km

事業促進要望区間

印 H30.2大雪による滞留車両区間



# 国道8号 平成30年2月大雪被害状況



福井新聞  
【H30.2.7】



平成30年2月7日 国道8号積雪状況(あわら市牛ノ谷)



平成30年2月7日 国道8号積雪状況(あわら市中川)



平成30年2月7日 国道8号積雪状況(あわら市熊坂)

# 国道8号 福井バイパス 整備効果

平成30年9月の福井しあわせ元気国体 競技会場へのアクセス向上  
 アクセス向上により工業団地の企業立地が促進



開閉会式場(福井運動公園) 改修後のイメージ

平成30年9月に福井県で第73回国民体育大会(福井しあわせ元気国体)が開催

開催期間:平成30年9月29日~10月9日

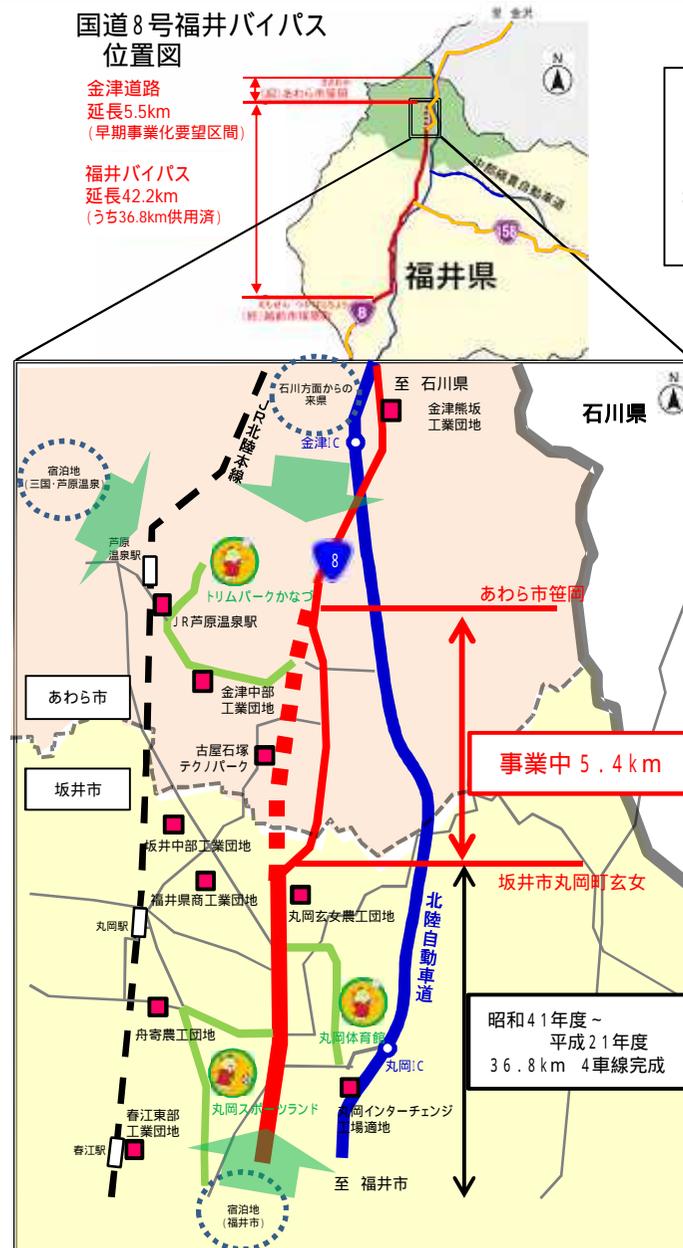


「はびねずダンス」等、県民の機運醸成に向けた取組を実施中

福井バイパス区間周辺は競技会場があり、アクセス向上に大きく寄与

	競技種目	会場
あわら市	バレーボール	あわら市農業者トレーニングセンター トリムパークかなづ体育館
	カヌー	北潟湖特設カヌーコース
	ゴルフ	芦原ゴルフクラブ
		越前カントリークラブ 福井国際カントリークラブ
坂井市	サッカー	テクノポート福井総合公園スタジアム 三国運動公園陸上競技場 丸岡スポーツランドサッカー場
	バレーボール	三国体育館 丸岡体育館

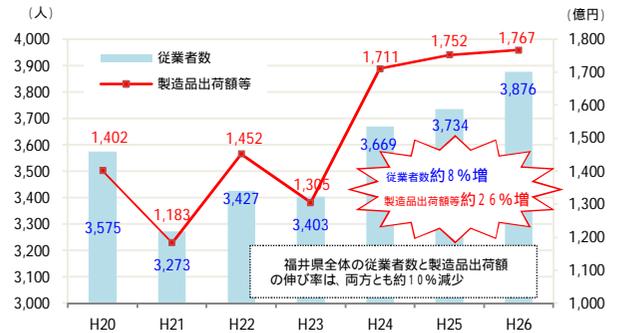
緑文字:福井バイパス周辺の競技会場



福井バイパス周辺の工業団地における企業立地の推移



あわら市の従業者数・製造品出荷額の伸び



出典:福井県工業統計調査(従業者4人以上の事業所を対象)

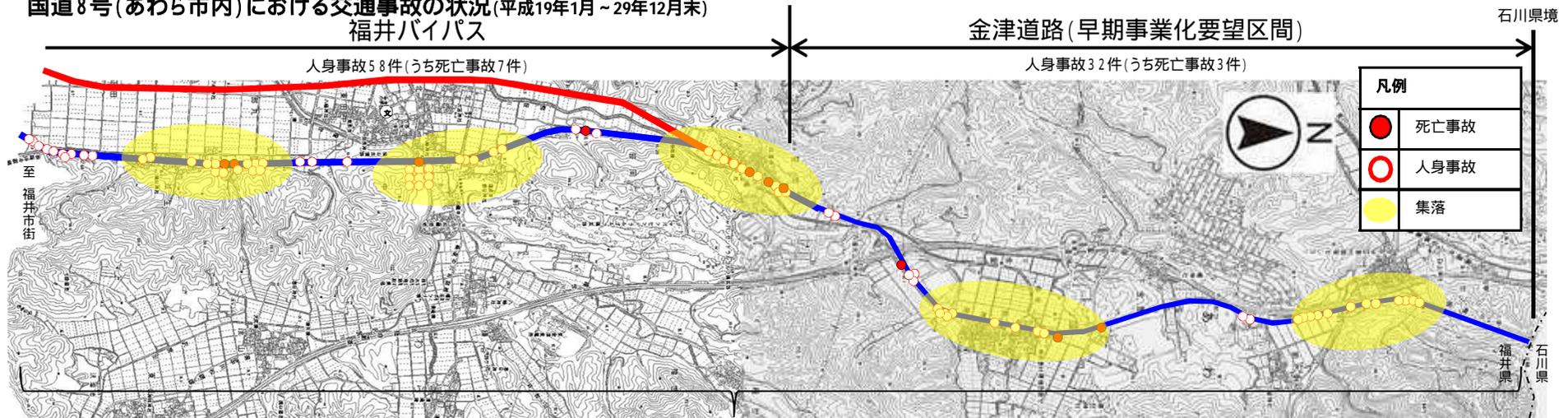
新規企業進出が決定:古屋石塚テクノパーク



# 国道8号 福井バイパス 整備効果

バイパスの整備により、現道の集落周辺で多発している交通事故数の減少が期待

国道8号(あわら市内)における交通事故の状況(平成19年1月~29年12月末)  
福井バイパス



冬期の大型車のすれ違い状況



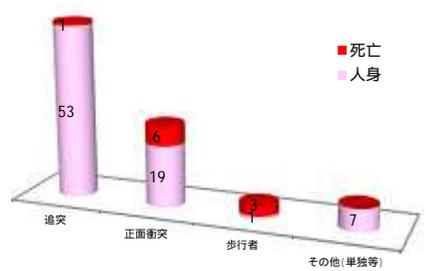
冬期の歩行者の通行状況

死亡事故件数の割合  
(あわら市内の国道8号 / 市内死亡事故件数)

38%  
(10 / 26)

あわら市内の死亡事故の約4割が国道8号で発生!

人身事故 90件(うち死亡事故10件)  
(平成19年1月~28年12月末)



バイパスの現道区間や県境部付近は線形が悪く、見通しが悪いことに加え、集落内を通過しているため、幅員が狭く事故が多発

福井バイパスの現道区間での事故



H24.6.18 福井新聞

県境部付近での事故



あわら 男性はねられ死亡

あわら市龍坂の国道8号で、軽乗用車と3トントラックが正面衝突した。軽乗用車の運転手は死亡した。事故現場には、軽乗用車の残骸と3トントラックの損傷が確認された。警察は、事故の原因を調査中としている。

H27.9.4 福井新聞

H25.8.5 福井新聞

# 繊維業の未来を紡ぐ加賀拡幅

## 【国道8号 加賀拡幅】

- 石川県加賀市を生産拠点とする繊維機械の**世界トップメーカー**は、製品の出荷に**国道8号**を利用
- 地域に根差す生産拠点からのアクセス性の向上により、**金沢港への輸送回数の増加を支援**
- 従業員の主要な**通勤経路**として、**国道8号**を利用

### 世界的企業が国道8号を利用

●世界シェア約4割！国内シェア99%！



■自動ワインダー  
 ・精紡糸の品質を整えながら、大きなパッケージに巻き上げる機械。  
 ・世界で初めて**空気**の力で糸をつなぐ**技術**を実現。

●中国、インドをはじめ受注が増加！



■精紡機(ボルテックス)  
 ・従来とは違う独特の糸構造により、毛玉ができにくく、吸水拡散性に優れるなどの機能性を持つ。  
 ・ボルテックス糸を用いた繊維製品は、差別化できる高付加価値製品として世界中に拡がる。

### 【市場の動向】

・市場はインド・バングラデシュ・パキスタンなど南アジア、中国、東南アジアが主流で世界各国に展開！

資料提供: 村田機械



社員の8~9割は加賀市から通っているため、**国道8号の整備は従業員の通勤などに効果があります。**  
 【村田機械の方】

### 金沢港の利用状況(輸出入)



資料提供: 磯金沢港連